

# 参 考 资 料

## ちゅらさき技能検定

「ちゅらさき技能検定」と銘打ち、職業班「オフィスアシスタント班」「介護コミュニケーション班」「エコロジーサービス班」の1年の集大成として、それぞれの班で学び、習得した知識、技能を確認、披露する場と設定した。(高等部3年生最後の職業の授業にて、高等部2, 3年生合同で実施した。)

- 日時: 令和5年3月13日 (1~3校時)・・・ちゅらさき検定  
( 4校時)・・・反省会 (合格証書授与、講評など)

### ①検定の様子

(オフィスアシスタント班)



(介護コミュニケーション班)



(エコロジーサービス班)



②検定検査項目

- ・検定内容や評価項目、評価基準に関して、一人の生徒に割り当てる時間を検討し計画を立てた。その際、「企業就労」に必要な力という視点で、各班、評価規準を厳しく設定した。

【 オフィスアシスタント班 検定結果 】

	2年 (6名)	3年 (5名)
1級	0	1
2級	1	1
3級	6	3

美咲特支センター分教室技能検定 (OA部門)

3年 氏名 [ ]

評価表

作業工程	評価項目	評価
A 挨拶から 検定開始	1 ハキハキと大きな声	0 0
	2 衣服が適切	0 0
B 道具の準備	3 使用する道具を選ぶことができる	0 0
	4 使用しない道具を整理しておくことができる	0 0
C OA業務	5 落ち着いて作業を行うことができる	0 0
D 道具の片づけ	6 元の位置に戻すことができる	0 0

プリントを整えながら作業  
ねじまわしてとよどいあり  
時間が前に進む可

タッグ組み立て	帳合作業	道具の扱い	評価
1回分 4分0秒 作業ミス (+10s)	+ 1分28秒 作業ミス (+10s)	+ 4分00秒 作業ミス (+10s)	+ 9分28秒 ×1つにつき+10s

級	タイム	合計	認定級
1級	~4分		
2級	4分~6分		
3級	6分~	9分28秒	3級

【 介護コミュニケーション班検定結果 】

	2年 (6名)	3年 (5名)
1級	1	1
2級	2	2
3級	3	2

ちゅらさき検定 (介護コミュニケーション部門)

検定日 令和5年3月13日 (月)

3年 氏名 [ ]

評価表

作業工程	評価項目	評価
身だしなみ	作業着をしっかりと着ている (ボロシやつOK)	5
	作業着を着てはいるが乱れている。(上下片方) Tシャツ/ズボン	3
	作業着を着ていない	0
挨拶態度	背筋を伸ばしハキハキと大きな声で言える。	5
	背筋を伸ばしているが声が小さい。	2
	だらだらしている。言わない。	0
車いす介助	① フットサポート、ブレーキ (一つでもできていないと0点)	2
	② 目線を下げ自己紹介をする。(目線を下げない場合は1点)	2
	③ 車いすへ移乗を促す言葉かけを行う。	1
	④ 適切な支援 (手を添える、車いすを動かすなど)	1
	⑤ フットサポートを上げる際の言葉かけ (しない1、上げない0)	2
	⑥ 移動する際の注意点を言える (手の巻き込み注意)	1
	⑦ 言葉	1
	⑧ 言葉	1
	⑨ 言葉	1
	⑩ 言葉	1
	⑪ 言葉	1
	⑫ 言葉	2
	⑬ フットサポートを上げる際の言葉かけ	1
	⑭ イスへ移乗。フットサポート、ブレーキ (一つでもできていないと0点)	2
	⑮ 適切な支援 (手を添える、車いすを動かすなど)	2
⑯ 移り手をあげる (目線を下げない場合は1点)	2	
ペットメイク	① シーツを左右、上下合わせる (お顔の2倍の大きさになっていたら)	2
	② しわを伸ばす (伸ばしてもシワが多い1点)	2
	③ 角の処理 (一応できていたら2点)	4
	④ はっきり「終わりました」と報告する。(小さき声1点)	3
	⑤ 時間内 (3分) で終わることができた。(できなかった1)	2
挨拶 (注1) 態度	背筋を伸ばしハキハキと大きな声で言える。	5
	背筋を伸ばしているが声が小さい。	2
	だらだらしている。言わない。	0

級	45~50点	認定級
1級	45~50点	
2級	38~44点	2
3級	37点以下	

合計点 43

【 エコロジーサービス班検定結果 】

	2年 (12名)	3年 (9名)
1級	0	2
2級	0	4
3級	12	3

ちゅうらさき技能検定(エコロジーサービス班)  
評価表【ほうきがけ】

学校名	受験番号	氏名
	5	

作業工程	評価項目	評価
A あいさつから 清掃開始前	1 審査員の合図を聞いて、手を上げる。	✓
	2 「〇〇学校の〇〇です。よろしくお願ひします。」と言える。	✓
	3 はきはきと大きな声で言える。	✓
	4 一礼する。(踵から礼をしている。)	✓
	5 気をつけてしている。	✓
	6 背筋を伸ばしている。	✓
	7 指先が伸びている。	✓
	8 衣服が適切に整えられている。	×
B 床を掃く	9 「失礼します」と言って一礼し、コートに入る。	✓
	10 上の手の親指で柄の先端を押さえている。	✓
	11 ほうぎの毛先を、しっかりと床に押し付けながら掃作している。	✓
C 点検・片付け	12 すべての行程が終了したら、検定コートに向かい「失礼しました」と一礼す	✓
	13 ほうぎを元の位置に戻す。	✓
	14 文化ちりとりを元の位置に戻す。	✓
	17 「作業終わりました」と報告する。	✓
D 報告・あいさつ	18 審査員に「ありがとうございました」と言える。	✓
	19 はきはきと大きな声で言える。	✓
	20 一礼をする(踵から礼をしている)	✓
	21 気をつけてしている。	✓
	22 背筋を伸ばしている。	✓
	23 指先が伸びている。	✓

級	点数	得点	認定数
1	23(満点)		
2	22~20	20	2
3	19以下		

A  
B オウチの扱いが床を掃いた、身体より掃く(行)る下、身体に近い(両側)掃く(行)る下、  
掃く(行)る下、  
C  
D

③ 「ちゅうらさき検定」の評価と課題

- ・どの生徒達も緊張感を持ち、真剣に検定に挑む姿が見られた。
- ・各班、評価表を生徒に返却した。休み時間に、1級を取得した同級生や先輩と自分の評価表を見比べる生徒が多くいた。評価表を見比べ、悔しがり「次は一級を取得する」と意気込む生徒や、「先輩のようになりたい」と憧れを抱く生徒が見られた。検定時にグループで互いの様子を見学できたこと、評価表で互いの評価を見比べることができたことで、自分や相手の成長や課題に気付き指摘、教えあうなど互いに切磋琢磨する姿が見られた。
- ・しっかり習得している内容、定着まで至っていない内容が明確に分かり、授業者にとっては授業の振り返りとなった。
- ・各作業の内容、目標、作業手順、「企業就労に必要な技能」を多くの生徒、職員が共通認識したことで、職員は指導に一貫性を持つことができ、生徒は学びの内容が明確になったと考える。その成果が、生徒の普段の清掃手順や清掃に向かう態度などに変化として現れている。
- ・次年度の「ちゅうらさき検定」は、各職業に関する実技検定と筆記試験を行い「職業に関する技能」の他に「職業に関する知識」についても学びの振り返り、確認を行う。

